

附属病院/医療安全管理部

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	秋野 裕信	平成27年4月～
	その他の職員	

2. 研究概要

研究概要

医療安全管理に関する研修はおおむね2回以上受講することが医療法で定められており、2016年の医療法改正では特定機能病院の承認要件見直しとして院内研修の充実が求められています。院内研修が医療安全管理に重要とされていますが、研修が実際医療安全確保に役立っているとするエビデンスは欠如したままです。院内研修が実際に医療安全行動に生かされるかを、科学研究費補助金の基盤研究（C）を獲得して研究しています。医療安全管理には医師からの報告が欠かせませんが、医師からの報告を増加させて医療安全に対する認識を持たせることを目標に対策を講じており、その有効性に関して研究しています。

医療安全管理のためはマニュアルや作業手順の遵守が必要ですが、それらを作成して遵守を医療者に促しても医療事故が絶えることはありません。チームワークやコミュニケーション、リーダーシップなどのノンテクニカルスキルが医療事故防止に重要です。米国医療研究品質局が作成したTeamSTEPS (Team Strategies and Tools to Enhance Performance and Patient Safety, チームとしてのより良いパフォーマンスと患者安全を高めるためのツールと戦略) を院内研修に導入し、医療事故発生件数の抑制効果について研究します。

キーワード

医療安全、院内研修、ノンテクニカルスキル、インシデント・アクシデント報告システム、リスク行動

本学の理念との関係

本学医学部の理念である「愛と医術で人と社会を健やかに」は、まさに医療安全管理部が目指す目標そのものであります。医療安全管理の根底には「人は間違える」存在であるとの考えがあり、今まで医療事故防止のために人ではなくシステムを改善することに主眼が置かれてきました。しかし、医療の最小単位が医療者という人である限り医療事故が絶えることはありません。よって、人が間違えることを最小限にとどめることが重要になるわけですが、そのためには本学医学部の理念にある「愛と医術」が必要です。患者への愛、ともに働く医療者への愛は、円滑なコミュニケーションや細部への心配りなどチーム医療による事故防止に最も重要な条件であり、そして医術の修練と進歩が医療安全に欠かせないことは言うまでもありません。「愛」は技術ではなく、医療者のノンテクニカルスキルの根底にあるものであります。しかし、医療者の「愛」に期待するだけでは医療に必要なノンテクニカルスキルの修得は困難です。院内研修を通じてノンテクニカルスキルに関する研修を行い、その有用性を評価して、今後の研修につなげていくことが重要です。

3. 研究実績

区分	編数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
	2019年分		2019年分	
和文原著論文	0		—	
英文論文	ファーストオーサー	0	0 (0)	
	コレスポンディングオーサー	0	0 (0)	
	その他	0	0 (0)	
	合計	0	0 (0)	

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

19106001

Hironobu Akino, Hideaki Ito, Keiko Nagase, Takeshi Hattori, Osamu Yokoyama: α 1-Blocker inhibits non-voiding contractions and decreases the level of intravesical prostaglandin E2 in rats with partial bladder outlet obstruction., J Urol, 26(9), 924-930, 20190717, DOI: 10.1111/iju.14069, #2, 107

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

19106002

Hironobu Akino, Hideaki Ito, Keiko Nagase, Takeshi Hattori, Osamu Yokoyama: An alpha 1-blocker inhibits non-voiding contractions and decreases the level of intravesical prostaglandin e2 in rats with partial bladder outlet obstruction., International Continence Society, Gothenburg, Sweden, 20190905

e. 一般講演

f. その他

業績一覧

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

19106003 黒川哲司、川村裕士、白藤文、玉村千代、折坂誠、寺崎和代、井上歩美、宇野美香、秋野裕信、吉田好雄：帝王切開時の産科危機的出血による妊産婦死亡の予防策 ―コマンダー存在下の帝王切開の安全性について―，第6回日本医療安全学会学術総会 インターネット学術総会，20200327

d. 一般講演（ポスター）

19106004 森岡浩一、秋野裕信、岩崎博道：外科感染症のコントロールにおける医療安全管理部、感染制御部の関わり方，第6回日本医療安全学会学術総会 インターネット学術総会，20200327

19106005 寺崎和代、宇野美香、井上歩美、中川好美、米沢由紀、稲井邦博、秋野裕信：TeamSTEPPS導入のための院内研修—2年間の結果報告—，第14回医療の質・安全学会，京都市，20191129

19106006 宇野美香、寺崎和代、井上歩美、稲井邦博、中川好美、嶋津裕子、秋野裕信：患者誤認の件数減少への取り組み，第14回医療の質・安全学会，京都市，20191129

19106007 井上歩美、小久保安朗、寺崎和代、宇野美香、稲井邦博、秋野裕信：院内転倒患者の歩行状況からみた転倒要因とその対策，第14回医療の質・安全学会，京都市，20191129

e. 一般講演

f. その他

(3) 国内学会（地方レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

19106008 糟野 健司、西川 雄大、西森 一久、横井 靖二、西川 翔、森田 紗由、小林 麻美子、福島 佐知子、三上 大輔、高橋 直生、木村 秀樹、岩野 正之、伊藤 秀明、多賀 峰克、小林 久人、秋野 裕信、横山 修、柿並 ありさ、鈴木 萌瑚、平井 風咲：19日間の移植腎機能発現遅延(DGF)を呈したHBc抗体陽性脳死下献腎移植の1例，第27回北陸腎疾患・血液浄化療法研究会，金沢市，20191102

19106009 糟野 健司、西森 一久、西川 雄大、横井 靖二、西川 翔、森田 紗由、小林 麻美子、福島 佐知子、三上 大輔、高橋 直生、木村 秀樹、岩野 正之、伊藤 秀明、多賀 峰克、小林 久人、秋野 裕信、横山 修、柿並 ありさ、鈴木 萌瑚、平井 風咲：20歳未満の優先制度施行後の小児献腎移植北陸第一例目，第27回北陸腎疾患・血液浄化療法研究会，金沢市，20191102

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

19106010 秋野裕信：医療事故の発生メカニズムとヒューマンエラー，福井県輸血療法委員会学術集会，福井市，20191214

19106011 秋野裕信：医療事故の発生メカニズムとチーム医療，医療安全職員研修会，舞鶴市，20191202

19106012 秋野裕信：医療事故調査制度と医療事故への対応、調査について，第1回医療事故安全対策セミナー，福井市，20191124

19106013 秋野裕信：医療事故発生のメカニズムとヒューマンエラー，医療安全基礎講座2019，京都市，20190612

19106014 秋野裕信：医療安全対策について，医療安全研修会，福井市，20190515

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
----	---------	-------	------	------	--------	---------

区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
----	------	-----	------	------	--------	---------

(B) 選考費附金

受入件数	受入金額
------	------

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
国内学会(全国レベル)	主催者	第6回日本医療安全学会学術総会 インターネット学術総会	20200327-20200331	

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本排尿機能学会	理事	秋野 裕信
American Urological Association	一般会員	秋野 裕信
日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会	一般会員	秋野 裕信
European Association of Urology	一般会員	秋野 裕信
日本排尿機能学会	評議員	秋野 裕信
日本臨床腎移植学会	一般会員	秋野 裕信
International Continence Society	一般会員	秋野 裕信
日本泌尿器内視鏡学会	一般会員	秋野 裕信
日本老年泌尿器科学会	一般会員	秋野 裕信
日本内分泌外科学会	一般会員	秋野 裕信
日本移植学会	一般会員	秋野 裕信
日本性機能学会	一般会員	秋野 裕信
日本泌尿器科学会	代議員	秋野 裕信

(C) 座長

国内学会	学会名	氏名
その他	第6回日本医療安全学会学術総会 インターネット学術総会	秋野 裕信
招待・特別講演等	第5回福井医療の質・安全を考える会	秋野 裕信

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長(主査)・委員	氏名

(E) その他